

授業科目

作業療法適用計画学

【担当教員名】 濱口豊太	対象学年	3	対象学科	作業療法
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	
【<概要>又は<一般目標: G I O>】 作業療法に用いる「作業」を対象者の個人別ニーズにどのように適用していくか、その論理について学ぶ。あわせて作業療法計画立案法を学ぶ。				
【<学習目標>又は<行動目標: S B O>】 1. 本教科の修得にあたり、履修科目を想定し、本科との関連性について述べることができる。 2. 作業療法の計画立案の一連の流れを概略説明することができる。 3. 「作業」の適用についての論理を友人と意見交換できる。 4. 作業療法実践の流れに沿って自己学習することができる。 5. 作業療法計画立案を友人と交換し、チェックしあうことができる。 6. チェックリストについて質疑応答をし、自己評価することができる。				
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	作業療法実践の仕組み			1, 2 講義
2	観察 評価、ICF分類、作業療法適用の理論			3 講義、討議
3	作業療法実践工程の分析（以降は、臨床実習Ⅱで担当した事例を基に学習します）			4 講義、演習
4	作業療法適用と作業療法計画（1）			4 講義、演習
5	作業療法適用と作業療法計画（2）			4, 5 演習
6	作業療法適用と作業療法計画（3）			4, 5 演習、発表、討議
7	発表と討議			6 講義、討議
【使用図書】				
教科書	<書名> 作業療法実践の仕組み <著者名> 矢谷令子他 <発行所> 協同医書 <発行年・価格・その他> 2001年, ￥3500			
参考書				
その他の資料	配布資料、Working Sheet、他			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
Working Sheet提出 70%	自己学習型作業が中心となります。			
自己点検・評価 30%	自己評価能力を涵養します。			